

企画展

景聴園×今昔館

現代の絵描きたち×大阪の住まいと文化の博物館

# 猶上方文化



2020 11月4日(水) ~ 23日(月)祝



開館時間: 10時~17時 (入館は16時30分まで)

休館日: 毎週火曜日

入館料: 常設展+企画展 一般800円 (団体700円) / 企画展のみ 300円

会場: 大阪くらしの今昔館 8階企画展示室 \*一部作品は、常設展示室内にも展示

高・大生500円 (団体400円) 要学生証提示 \*団体は20名以上 \*年間パスポートでも入場可 \*中学生以下、障がい者手帳持参者 (介護者1名を含む)、大阪市内在住の65歳以上の方は無料 (要証明書提示)

交通: Osaka Metro 堺筋線・谷町線阪急線「天神橋筋六丁目駅」3番出口から直結 / JR天満駅より北へ650m

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20住まい情報センター8階 TEL 06-6242-1170 <http://konjyakukan.com>

大阪市立住まいのミュージアム

大阪くらしの今昔館

今昔の上方文化を 絵で解きひらく

# 描きひらく 上方文化

この度、大阪くらしの今昔館では現代作家とのコラボレーション企画として、京都で日本画を学んだ日本画作家グループ「景聴園（けいちょうえん）」の作品を展示いたします。

景聴園は80〜90年代生まれの関西出身作家5名と企画を担当する2名が所属し、日本画を通して文化と歴史を再考することで絵画のあり方を見つめ、2012年の結成より様々な場との関わりの中で制作と発表を続けています。

本展の開催にあたり、景聴園の作家たちは大阪の住まいの歴史を紹介する一環として今昔館が所蔵する江戸時代から近代までの美術・歴史資料を熟覧し、それぞれにテーマを設けて大阪の歴史と文化の魅力を掘り下げてくださいました。企画展示室では景聴園の新作絵画と今昔館の多彩な所蔵品を交えての展示を行います。さらに常設展示室では、再現された江戸時代の大阪の町並みの中で作品展示を行い、上方文化の奥深い世界をひろげます。

企画・景聴園 主催・大阪くらしの今昔館

## 景聴園

**出展作家 × テーマ**

上坂秀明 「大阪の水景」  
 合田徹郎 「大坂文人たちの交流」  
 服部しほり 「天神祭」  
 松平莉奈 「大阪はたらくおんなの十景」  
 三橋卓 「遊び・玩具」  
 企画 「描きひらく上方文化」  
 乃村拓郎 古田理子

<http://www.keichoen.info/>

景聴園出展作品 A 菜祖神 (三橋卓) B 火の夢 (合田徹郎) C 人魚図 (服部しほり) D 大阪はたらくおんなの十景 (松平莉奈) E ナツトキヤマ (上坂秀明) F つなぎとめる方法 (三橋卓) G 菌菌先生 (松平莉奈)

今昔館所蔵品 1 神農図 (篠崎小竹筆・源翁賛) 2 春駒演技之図 (深光斎周元筆) 3 おもちや図 (上田耕仲筆) 4 立雛図 (上田公長筆) 5 浪花天神橋 (菅橋彦筆) 6 鍾馗図 (墨江武禅筆) 7 住吉祭図 (幸野棟嶺筆) 8 諸国名所百景撰州難波橋天神祭之図 (二代広重) 9 龍虎図 (森狙仙筆) 10 鶴図 (吉村周山筆) 11 漁樵図 (佐々木蜻洲筆) 12 星川雲八中村芝翫 (寿好堂よし国画) 13 淀川勝景図巻 (香川景樹・中井藍江筆) 14 よと川の図 15 文人寄書 16 蓬萊山図 (墨江武禅筆) 17 虎溪三笑図 (福原五岳筆) 18 西王母図 (今宮太室筆) 19 張り子の虎 20 機械式計算機 21 酒田公時の御迎人形

